

みんなちがって あたりまえ でも 子育てに 不安を 感じる すべての方へ
子育て おうえん ちょっと 休憩しませんか？



「ミルクティー」

長崎市立村松小学校長 三根 裕一郎
特支Co 下田 誉子

まずは、あまーいミルクティーを1杯どうぞ。

今回は、両面「ミルクティー」です。裏面もありますので、ゆっくり読まれていただけると幸いです。

子どもたちは、時には、仲良く、楽しく、時には、言い合いになり、喧嘩に発展・・・・・・・・
考えてみれば、大人となった私たちも、子どものころには、多くの失敗を経験し、先生や、友だち、親、いろいろな大人に教えられて、多くのことを学んできました。

ですから、道ばたで、言い合いになったり、喧嘩をしている大人や、バスの中や映画館で、大声で話したり、店の中を走り回ったりする大人は、そうそう見ません。

もともと、おだやかな人もいらっしゃることでしょうし、中には、イライラしていても、ここでは抑えなきゃと、我慢している人もいらっしゃることでしょう。

なぜ、抑えられるのか、我慢できるのか・・・

それが、これまでの経験。ここまではダメだという、社会のルールを学んできているからですね。ところが、子どもたちは、今、学んでいるので、失敗を繰り返しながら成長していきます。

このことを踏まえた上で、村松小学校の保護者の方々は、子どもたちが発達段階にあることや、発達障害等への理解があり、人に迷惑をかけてしまうお子さん（たとえ我が子が迷惑をかけられたとしても）に対して、

「きっと、そのお子さんも、何か困っていることがあるのでしょね。

そのお子さんも辛いですね。」

といった、声を聞くことが増えてきました。

すごい！



これまで、コツコツと発行してきた「ミルクティー」も、その一助となっているのではないかと、大変うれしく聞いている次第です。

ぜひ、村松小学校の教師、保護者、地域みんなで、子どもたちを育てていただけたらと思います。では、裏面へ・・・・・・・・

今回は、「**世界に1つだけの子育ての教科書**子育ての失敗を100%取り戻す方法」奥田健次著

という本を引用して、紹介します。

最近、家庭でのふるまい・言葉づかいがひどいというご相談をよく受けます。スクールカウンセラーへの相談内容にもよくあります。その逆もあり、学校のみで、友だちへのふるまい・言葉づかいが心に刺さる。家庭にしても、学校にしても、なかなかやめられない。さて、そのような場合どのような対応をしたらいいのか。

子どもの「暴力・暴言・物壊し」に、絶対これはやってはいけない 3大NG行為

NG① 暴力に対して暴力（体罰）で返すこと

子どもにたたかれたから、たたき返すとか、お父さんがハリ手をくравすとか、そういう力と力の衝突は、絶対に避けなければなりません。

NG② その場しのぎの解決（従属、取引）を優先すること

要求を制限されたとき、子どもは激しい癇癢を起す場合があります。その末に、親や兄弟に対して暴力を振るってしまうケースです。「その行動を今すぐやめさせたい」と思うならば、大人が子どもの要求に従うと、たしかに暴力は止まります。要求に従えないけど、「じゃあこれをあげるから」と言って、別のものを渡しても止まるかもしれません。でも、こういう従属や取引はやらないほうがいいのです。

NG③ 子どもの言った言葉にいちいち付き合うこと

子どもが「死ね」と言えば、「どうしてそんなこと言うの？『死ね』とか言ったらダメでしょ！」と返し、子どもが「殺して」と言えば、「そんなことできるわけじゃない！」と返す。親としては、**丁寧な子育てをしているつもりでしようが、実際には子どもの言葉に振り回される子育てになっているのです。**

奥田先生は、佐世保で起こった女子高生殺害事件を例にあげて、対応が遅すぎると書いています。加害者の女子高生は、事件前から猫を殺すのが楽しいことや、殺人願望があることを身内に公言しており、父親に対する暴力もありました。事件の4ヵ月前には、父親を金属バットでなぐり、大ケガをさせていたのです。父親は、マンションを借りてこの娘を一人暮らしさせていました。事件後、この女子高生の父親は自宅で首つり自殺をしてしまいました。大きな代償です。暴力に対しては、隔離。入院（もしくは児童相談所）させるぐらいの気持ちで対応したほうがいい。「暴力行為が次に起きれば、一緒に住めなくなるんだよ、思うようにならない施設や病院で生活しなきゃなくなるんだよ。」**ということ念頭に置いて接していく覚悟**が必要です。その結果暴力行為はゼロになる。しかし、なにもしなければ、また、繰り返してしまうことになる。※このことも、我が子のこととして考えてください。よそのお子さんにあてはめることは、絶対に止めましょう。

ミルクティーの味は、いかがだったでしょうか。お役に立てれば幸いです。

